



海外の緑化事情 地球の緑化が進んでいる？

http://www.ryokka.org/

少し前になります。NASAのWEBサイトに、二酸化炭素が地球の緑化を進んでいることが判明したとの記事がありました。

これは人工衛星を利用して、地球全体の表面にある植生を調査したところ、35年前と比較して植物に被覆されている面積が、アメリカ合衆国の面積に匹敵するくらい拡大しているという事です。

その要因の7割は二酸化炭素の濃度が増えることと光合成が増加し、植物の成長が促進されることです。

二酸化炭素は植物が光合成を行うには必要不可欠なものです。当然ながら二酸化炭素が増えることで植物の成長を促すことになり

二酸化炭素が増えた原因は地球気候変動の影響で温暖化、海面上昇、氷河や氷の融解、さらに深刻な気象現象があります。

二酸化炭素は地上から

宇宙に放出される赤外線を減少させてしまつて赤外線が温度を上昇させていると言われています。

緑の面積が増えているのは良いことなのですが、反面、これまでは寒冷地だった場所が植物が繁茂可能なくらいに温度が上昇しているという背景があります。

また二酸化炭素だけではなく、窒素の堆積も原因の10%程度を占めることのできた化石燃料を燃やしてきたことが最大の原因である事は判明しています。二酸化炭素にしろ、窒素にしろ現代社会のツケではないでしょうか。

温暖化してしまつたのを元に戻すことはとても困難です。抑止し少しでも元に戻せるよう、各国で人工的な緑化が推奨されています。

その一端を担う緑化資材を大日化成ではこれからもご提供し続けて参ります。

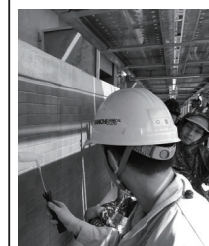
透明外壁防水材「スカイコートW」説明会を各地で開催しております！

「スカイコートW」の販売開始より、4年目のシーズンに入ろうとしています。各地の得意先販売店様や施工店様等、「スカイコートW」の説明会を順次開催させていただいております。

「スカイコートW」の長所を多くの人に知っていただき、施工実績も着実に増えて来ております。しかし、現状で外壁タイルからの雨漏り等が発生している場合は、わざわざ「スカイコートW」を施工しようという話にはなり難いのが現実です。

もちろん「スカイコートW」を施工することで、「今まで何をしても止まらなかった水漏れがピタリと止まった！」と喜んでいただいた現場の声も多数頂いております。

外壁タイルの目地のひび割れ等から雨水が浸入し、タイルの裏側に廻ってしまうとタイルそのものの浮きにつながり、それが進行するとタイル自体が剥落してしまう危険性も高くなるだけでなく、タイル浮き部分への注入など、計算も余分に掛かってしまうこととなることから、タイル外壁の劣化が進行してしまう前に、「スカイコートW」の施工をお勧めしたいと思っております。



「スカイコートW」はあくまで防水材であり、剥落防止の機能を謳っている訳ではありませんが、カタログ資料の塗膜物性値や、当社HP内の動画資料等をご覧いただければお分かりのとおり、温度変化による影響が少なく、優れた伸び特性と、強靱な塗膜強度を併せ持った防水材です。

「スカイコートW」を施工することによって、将来的にタイル目地にひび割れが発生しても表面の「スカイコートW」防水塗膜が雨水の浸入を防ぎ、外壁タイルの浮きや剥落を予防する効果が期待できます。

今年も引き続き各地での説明会を通して、「スカイコートW」の優れた特長をより多くのユーザー様に知って頂きたいと考えておりますので、説明会のご要望があれば当社営業担当者まで御連絡をよろしくお願いたします。

DAINICHI CHEMICAL CO., LTD.

● 本社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL : 06-6909-6755(代) / FAX : 06-6909-6702

● 東京支店
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-4-14 芝楽太楼ビル 5F
TEL : 03-3436-3801(代) / FAX : 03-3436-3803

大目新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社06-6909-6755までお願いいたします。



次号も
お楽しみに

URL : http://www.dainichikasei.co.jp

Vol.47

映画で学ぶ 環境問題



FLU 運命の36時間
原題: THE FLU

監督: キム・ソンス
脚本: イ・ヨンジョン キム・ソンス
出演者: チャン・ヒョク
スエ
パク・ミナ
上映: 121分
制作国: 韓国
配給: CJ Entertainment Japan
公開: 2013年

昨秋ロンドンで、39人もベトナム人の遺体が、一つの冷凍コンテナの中で発見されました。

全員、出稼ぎ目的の密入国者で、凍死という悲惨さ。26歳の女性は死の直前に「ママ、ごめんさい。私は死んでいく。息がでないの。」と悲痛なメッセージを送っていたことから、欧米では連日、大きく報道されました。

こういった出稼ぎ者だけでなく、後を絶たない難民問題、そして昨今の不審船舶や、急激な外国人旅行者の増加はウイルス・パンデミック

ク(感染爆発)のリスクを高めます。そういった感染の恐怖を描いたのが、韓国映画の「FLU 運命の36時間」です。

前号ご紹介の「コンテイジョン」同様、暗く悲惨な内容ですが、そこは韓国。娯楽要素を高め、キャラクター設定も明るくコミカルであり、グイグイ引き込まれます！

何よりも、ソウル近郊に実在する盆唐(ブナダン)地区を舞台とし、多くの市民がエキストラで参加していることもあり、期待以上の迫力です。

ストーリーは、レスキュー隊員と女性医師、抗体を持つ彼女の娘を中心に展開するもので、香港から



運はれる東南アジア人密航者の中に、突然変異型の鳥インフルエンザに感染した密航者がいたことから、糞尿あふれ息詰まるコンテナの中で広がり、たどり着いた郊外都市ブナダンで一気に感染を上げてしまうという内容です。このウイルスは、致死率ほぼ100%と驚異的なことが、この映画の主軸になっています。

政府は韓国全土を守るため、人口47万人のこの地区を封鎖し、隔離地区にあるスタジアムで、まだ息のある感染者ともども死者をビニール袋に詰め、まるで二ワトリの殺処分のごとく火炎放射器で焼いていきます。

一方、地球規模の拡大を恐れるアメリカ軍は、それじゃ手ぬるいと、韓国政府に許可せよとミサイルで町をまるごと消滅させようとしています。

「医師対政治家」「一般市民対軍人」「韓国政府対アメリカ軍」「感染者対非感染者」のように、立場の違う者同士の対立も描き、手に汗握る展開です。

幸い、正義感あふれる韓国大統領の登場やワクチンの開発でハッピーエンドに終わりますが、いざ、こういったパンデミックが起こった場合、現実にはどう対処すれば良いのか、本当に深く考えさせられます。

今年はいよいよ東京オリンピックも開催されて嬉しい反面、ウイルスリスクが高まっていることも忘れたいですね。

なお、アジア地域のアカゲザル、カニクイサル、日本サル、台湾サルなどマカク属のサルは半数以上が、このBウイルスに潜伏感染しているようですから、サルと近づく際は、くれぐれもご注意ください。

さて本作品ですが、鳥が羽ばたいている一瞬もムダにしない演出は、王道作品ならではの！ほんの少し難もあり、シヨッキンギなシーンもありますが、スピーディな展開であつという間の2時間です。

エンディングロールの後にも、おまけのシーンがありますのでぜひ最後までご覧ください。